

立冬の頃

この間まで残暑が厳しいと思いながら過ごしていましたが、園庭の木々も色づき秋の深まりを感じます。年少さんは毎日きれいな色の葉っぱをたくさん手に持ち登園してきます。秋は季節が少しずつ変化をすることから「深まる」という言葉が使われますが気づけば立冬も過ぎました。外で走り回るのは絶好の気温で、しっぽとりや、三輪車のような体力を使う遊びも登場しました。4月当初に比べると目を見張る成長を遂げている子どもたち。年長さんは入学選考に関する動きもありどの学年も少しずつ来年度を意識する時期です。

年中さん年長さんはアフリカンサファリを訪れ、たくさんの動物たちと出会いました。モルモットを抱く優しい手は温かく柔らかで、モルモットも居心地よく目を閉じていました。ウマやヤギと会話をして楽しむ姿もありました。どんなものにもかけがえのない命があり、それぞれ、姿や得意なこと、生活のスタイルが異なっても、仲良く過ごしている様子はまさに多様性そのものであり、自分や相手を尊重して生活する様もウェルビーイングという言葉思い出させるものでした。（人権保育も近く計画されています。ご参加お待ちしております。）

これまでたくさんの事を「体験」した子どもたちですが、今年度の園生活後半はそれを「経験値」として活かしながら次へのステップにつながるよう意識して保育を進めたいと思います。

先日、PTA 役員の皆様との常任委員会を開催しました。2学期前半の各部の活動振り返り報告や今後の計画について話しましたが、改めて保護者の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございます。今後も引き続きよろしくお願いいたします。（HPに「R7 度前期 保護者学校評価」を掲載しております）

大 幼



令和7年度
園長だより
No 11
R7年11月13日



年長さんとヤギ。好きな食べ物について会話をしていました。優しい心があふれています。



年中さん、お芋の大作。この後ダンゴムシ（斜め上）も登場していました。



11日の引き渡し訓練へのご協力、ありがとうございました。お世話になりました。出てきた課題は改善に努めます。年少さんも中学校4階までの移動がとても早くなりました。